

2019年度冬期の取組みについて提案団体交渉 昨年度冬期を踏襲した体制を提案

新潟地方本部は10月17日に団体交渉を行い、新潟支社より「2019年度 冬期の取組みについて」の提案を受けました。

冬期体制期間の統一や冬期要員数、簡易型乗用除雪機械「とらん丸」の運用・教育や車掌の誘導による小移動でのE129系ディスプレイキ凍結確認など、この間労使で議論を継続してきた課題を含めて昨年度の対策を踏襲した提案内容となりました。

冬期における社員運用「雪害等については支社企画部門からの応援で対応」として、営業の多客対応についてはガーラ湯沢の営業にあわせ12月14日から「とらん丸」について、教育対象は事務職社員以外全社員が基本であり、11月から

簡易型乗用除雪機械「とらん丸」について、教育対象は事務職社員以外全社員が基本であり、11月から

暖冬小雪傾向により昨年度の冬期に対する検証が行えなかったことや、実効性に乏しい取り組みも見られることから、2019年度冬期を万全な体制で迎えるためにも冬期要員の申し入れに向けて取り組みを進めていきます。

質疑ではすべての代議員から発言がありました。特徴的なのは「運輸職場での転勤における問題と課題」「今冬期に向けたとらん丸運用に対する問題」「要員不足における諸問題」「びゅうプラザの廃止・顧客接点型拠点設置についての問題」「営業職場の現

昨年大会以降、上中越支部では4名の皆さんから我が組合に加入をいただきました。この間、業務の課題克服を通じ、組織の強化・拡大を目指してきました。職場には私たちの運動に共感してくれる方が多く存在しています。労働組合の存在意義と、私たちの取り組みを組織

の内外に発信し、更なる組織拡大の実現を職場から築き上げていくことをあらためて今大会において、全体で確認しました。外谷新委員長を筆頭に、支部・分会運動が更に飛躍し、組織拡大が実現できるよう邁進していきます。(上中越支部 投稿)

始めると説明しました。運搬手続きを3保線技術センター間ではなく主管で行うという組合側からの提案は検討中とする一方で、載線可能な踏切の調査は現在も継続中であり、運搬業者についても新潟以外は未定であると明らかになりました。車掌の誘導による小移動でのE129系ディスプレイキ凍結確認は今後も継続するとして一方

暖冬小雪傾向により昨年度の冬期に対する検証が行えなかったことや、実効性に乏しい取り組みも見られることから、2019年度冬期を万全な体制で迎えるためにも冬期要員の申し入れに向けて取り組みを進めていきます。

質疑ではすべての代議員から発言がありました。特徴的なのは「運輸職場での転勤における問題と課題」「今冬期に向けたとらん丸運用に対する問題」「要員不足における諸問題」「びゅうプラザの廃止・顧客接点型拠点設置についての問題」「営業職場の現

昨年大会以降、上中越支部では4名の皆さんから我が組合に加入をいただきました。この間、業務の課題克服を通じ、組織の強化・拡大を目指してきました。職場には私たちの運動に共感してくれる方が多く存在しています。労働組合の存在意義と、私たちの取り組みを組織

の内外に発信し、更なる組織拡大の実現を職場から築き上げていくことをあらためて今大会において、全体で確認しました。外谷新委員長を筆頭に、支部・分会運動が更に飛躍し、組織拡大が実現できるよう邁進していきます。(上中越支部 投稿)

3.4ヶ月分を申し入れ

本部申16号2019年度年末手当に関する申し入れ

7月30日に発表した「2019年度第1四半期決算」は増収増益、単体決算の営業収益と運輸収入が8期連続の増収かつ第1四半期決算としては過去最高、すべての利益が過去最高となりました。すべてのJR労働者が「安全・安定輸送」と「質の高いサービス」を提供するとともに「変革2027」を踏まえた新たな諸施策を担い努力を積み重ねてきた成果といえます。

◆本部申16号 申し入れ
1. 2019年度年末手当は「基準内賃金の3.4ヶ月分」とし、12月13日までに支払うこと。
2. 55歳以上の社員(昭和39年4月1日以前生まれ)に、一律5万円の加算をすること。
3. グリーンスタッフの精勤手当に、一律5万円の加算をすること。



昭和採用連絡会は、10月5日に新潟駅前前のプラスチックにおいて、「年寄り気にならぬ飲み会2019秋」を開催しました。シニア組合員が一堂に集い日頃の活躍を振り返り、慰労と懇親を図る場となりました。

各職場での課題やエルダー出向先における労働条件など様々な問題がある中で、これらを克服し仲間を増やし、後輩により良い職場を残すために頑張ることを語り合い、これからの活躍に向けて鋭気を養いました。(昭和採用連絡会 投稿)



今年度の交流会は好天に恵まれ、さわやかな秋晴れのあたたかな昼下がりに、山形名物の芋煮や鮎の塩焼き、各地方本部が持ち寄ったお酒の数々を楽しみながら、仲間と語り合い懇親を深めました。(参加者投稿)

10月10日、山形県山形市の馬見ヶ崎河川敷において、仙台地方本部主催の「第6回団結芋煮交流会」が開催されました。新潟地本からも酒田地区分会や新潟車両センター分会などから11名が参加しました。

今年度の交流会は好天に恵まれ、さわやかな秋晴れのあたたかな昼下がりに、山形名物の芋煮や鮎の塩焼き、各地方本部が持ち寄ったお酒の数々を楽しみながら、仲間と語り合い懇親を深めました。(参加者投稿)

今年度の交流会は好天に恵まれ、さわやかな秋晴れのあたたかな昼下がりに、山形名物の芋煮や鮎の塩焼き、各地方本部が持ち寄ったお酒の数々を楽しみながら、仲間と語り合い懇親を深めました。(参加者投稿)

労働組合の存在意義と私たちの運動を内外に発信し 更なる組織拡大を実現しよう！ 上中越支部第8回定期大会の開催

